朝日連峰、竜門から大朝日山(山スキー)

2011年5月14~15日 松田他4

5月14日 (ガス強風、雨、霰)

北上インターで盛岡組3人と6時半に待ち合わせ、見送りに来てくれた星さんの差し入れ(ビール)に感謝し、高速で山形を目指す。今回、私を除く男性3人はみな岩大山岳部OBで、朝日に詳しい成澤さんの企画である。一ノ関から仙台まではかなり路面が荒れて、所々に大きな段差があった。それでもじきに山形盆地に入り、月山インターで降りて、日暮沢小屋を目指す。根子の部落では、満開の桜と残雪の組み合わせが不思議な感じだ。北上からここまで3時間足らずで、やはり近さを実感する。



日暮沢林道の水芭蕉

林道は日暮沢小屋まで1時間くらいの所で通行止めになり、ここで支度をしていると雨が強くなり、モチベーションが下がっていく。どうも最近山では雨ばかりだ、というぼやきも聞こえるが、今日は前線通過で寒気も入り、天候は最悪になりそうな感じである。こごみ、タラの芽などを採りながら、1時間ほどで着いた日暮沢小屋は3階建ての立派な造りだ。ここからしばらくは、胸を突くような急登が続く。岩ウチワやカタクリが単調な登りの救いになる。

清大岩付近からますます風が強まり、雹の降る中、時折雷も鳴り響き、強風に吹き倒された

こともあった。



ブナ林を行く

竜門山頂手前で足がつってしまい、皆に迷惑をかけてしまう。視界のほとんどない中で、成澤さんの見事な地図読みで、どんぴしゃり山頂の標識に出て、夏道を竜門小屋に向かう。小屋に入ってようやく風から開放され、2階に店を拡げて早速宴会準備。小屋の中では、余計に風の音が大きく響き、外はどうしようない天気のようだ。差し入れのビールで乾杯し、次から次と酒、美味しいつまみが回ってくる。

行者にんにくのギョーザ、ベーコン巻きなどは、料理の上手な渡邊さんに負けないくらいの出来栄え、葉わさびのおひたしも美味しくて、私も今度は美味しい手料理を披露したいなと思った。工藤さんは諏訪木先生の同期で、昔のいろいろな面白い話を披露してくれた。いつものように延々と飲んで寝る。

5月15日(曇り後、晴れ)

朝起きると、風は弱まったがガスは相変わらず であったが、食事をしているうちに次第に明る くなり、大朝日に向かうことに決まる。

昨日よりましであるが、相変わらずの風とガス の中、西朝日の手前くらいからガスが切れて、 視界が効くようになった。袖朝日への白い稜線、 背後には以東岳に連なるのびやかな主稜線。

西朝日の山頂からは、ガッコ沢左俣が正面に見 えた。 あまり雪を付けずに真っ黒で、上部は 漏斗状に絞られている。雪苞沓山の会の活躍したこの沢に、最近入った新潟の山岳会の記録は、 実に迫力があって、今回ここを見るのも楽しみであった。いつか行ってみたいが・・・。



ガッコ沢左俣(西朝日岳より)

西朝日からの下りは、いくらか急なのでアイゼンを付けたが、雪が緩んでいるのでスキーで十分滑れる所だ。小朝日を正面に見て、雄大な風景の中を大朝日に向かう。左手には月山、右手には一段と真っ白な飯豊が連なっている。さすがに飯豊、本山から朳差に連なる稜線は、ここよりさらに雪が多い。



西朝日岳より大朝日岳に向かう 大朝日の手前のピークの下りでフリートレックを付ける。ざらめの大斜面は快適そのもの、 スキーを持ってきたのは私だけだったので、一 人だけいい思いをしてしまう。

登り返して、大朝日の避難小屋に着き、空身で ピークを往復する。山頂からは磐梯山から蔵王 くらいまで様々な山が見えた。



大朝日岳(西朝日岳より)

下山路は夏道が出ている所が多いが、途中一箇所いい斜面があった。残念ながら短いと思い、滑り損ねてしまう。小朝日の急な登りを喘登し、山頂で大休止。歩いてきた稜線が良く見える。ピークを少し下ってまたフリートレックを付け、クレバスの多い斜面に気を使いながら滑る。古寺山の手前ではスキーで登ってくる男性に会い、山頂には同行の女性がいて、少し話をした。山頂から少し北西に行き、ハナヌキ峰への尾根への降り口は雪庇になっているので、切れ間から大斜面に飛び込む。

最初は少し急だが、雪が緩んでいるので問題なく快適そのもの、あっという間に300mを滑って、下のコルでみんなが来るのを待つ。スキーを持ってきて良かったと、初めて実感した。



快適な大斜面 (大朝日岳手前)

この辺りからブナが美しくなり、その間をもうしばらく滑って、あとはみんなと一緒にツボで降りる。尾根の最後は、夏道を行かず、冬尾根のようなルートを下降した。朝日に詳しい成澤さんの話では、こちらの方が安全で早いそうだが、鉈目、赤布なども多くかなり踏まれていた。林道に出て、木々の芽吹きを愛でつつ、こごみを採ったりしながら、ゆっくり車まで戻る。雪のある時期の朝日は初めてだったが、天候にも恵まれ、とても充実した山行となった。

(松田記)



祝瓶山と飯豊(大朝日岳より)

コースタイム

5月14日

林道終点(9:30) - 日暮沢小屋(10:

30) - 竜門避難小屋(16:00)

5月15日

竜門避難小屋(6:20)— 西朝日岳(8:20)— 大朝日岳(10:05)— 日暮沢小屋(15:00)— 林道終点(16:00)